

いずもざき

議会だより

2015
第88号

平成27年7月21日



すごい！いっぱいになっているよ！
2年生が梅もぎ体験

6月定例会

議会の新しい人事構成と
ひまわりハウス第2弾など

もくじ

○ 議会新人事構成	2
○ 6月臨時会、議会のうごき	3
○ 6月定例会	4
○ 予算審査特別委員会、追跡	5
○ 全員協議会	6
○ 一般質問 (3人が町政をたぐす)	7
○ 町民の声	10

副議長及び各委員会の人事構成

議長

副議長

山 崎 信 義	仙 海 直 樹
---------	---------

	総務文教常任委員会	社会産業常任委員会	議会運営委員会
委員長	三 輪 正	宮 下 孝 幸	中 川 正 弘
副委員長	加 藤 修 三	高 桑 佳 子	三 輪 正
委 員	中 川 正 弘	田 中 政 孝	宮 下 孝 幸
	諸 橋 和 史	中 野 勝 正	諸 橋 和 史
	山 崎 信 義	仙 海 直 樹	

議会報特別委員会

委員長	高 桑 佳 子		
副委員長	加 藤 修 三		
委 員	三 輪 正	仙 海 直 樹	

農業委員会委員（推薦）

加 藤 修 三

※副議長は申し合わせにより、2年で交代します。

副議長就任の

あいさつ

副議長 仙海 直樹

副議長の職を務めさせていたただくこととなり、その責任の重さに改めて身の引きしまる思いがいたします。

今日の社会情勢を見ますと、地方における課題は山積しており、本町においてもまさにその渦中で、今後、議会の役割は益々重要になると思います。浅学非才の私ではありますが、皆様と共に出席の発展と地域住民の福祉の増進に最善を尽くしてまいりたいと思っておりますので、ご指導をよろしくお願いいたします。

議会のつどひ（主なもの）

（平成27年4月～6月）

- 4・6 議会報特別委員会（議会だより第87号）
- 21 出雲崎町議会モニター意見交換会
- 24 第4回全員協議会
- 21 県町村議会全議員研修会（新潟市）
- 26 第40回議長・副議長研修会（東京都）
- 1 議会運営委員会
- 5 県町村議会議長会臨時総会（新潟市）
- 8 第5回町議会臨時会
- 11 第5回全員協議会
- 15 議会運営委員会
- 16 第6回町議会定例会招集日
- 19 予算審査特別委員会
- 16 社会産業常任委員会
- 19 総務文教常任委員会
- 22 定例会2日目（一般質問）
- 22 議会報特別委員会（議会だより第88号）
- 22 議会運営委員会
- 29 定例会最終日
- 29 第6回全員協議会
- 29 議会報特別委員会（議会だより第88号）

6月臨時会

(会期 6月8日 1日間)

臨時会では平成26年度一般会計補正予算(第8号)(専決)、条例の一部改正など議案4件が提出され慎重審議の結果、いずれも原案のとおり全会一致で可決、承認しました。

また副議長の選出や各委員会の構成、正副委員長等の決定も行われました。



平成26年度 一般会計補正予算(第8号)(専決) (△は減額)

会 計	補 正 額	補正後の予算額
一 般 会 計 (第8号)(専決)	△2460万円	35億1865万円

主 な 歳 入

- ・ 地方交付税追加(特別分)……………6953万円
- ・ 地方消費税交付金追加……………1119万円
- ・ 土木費国庫補助金(除雪費)…△ 230万円
- ・ 農林水産業費県補助金……………△ 663万円
- ・ 財政調整基金繰入金……………△9312万円

主 な 歳 出

- ・ 地域交流施設費……………△1090万円
(地域振興拠点施設建築工事△870万円他)
- ・ 道路維持費……………△ 620万円
(除雪委託料△300万円他)
- ・ 道路新設改良舗装工事費……………△ 330万円
- ・ 街なみ環境整備工事費……………△ 200万円

承認した条例改正(専決)

◆町税条例の一部改正

地方税法等の一部改正によるもの。

- ・ 個人町民税に係る住宅借入金等特別控除期間の延長など。

◆町国民健康保険税条例の一部改正

地方税法施行令等の一部改正によるもの。

- ・ 課税限度額の引き上げや保険税軽減世帯の所得算定基準の見直し。

◆町介護保険条例の一部改正

介護保険法施行令及び介護保険の算定等に関する政令の一部改正。

6月定例会

(会期 6月15日～22日 8日間)

* 6月定例会で決まった補正予算 *

会 計		補 正 額	補正後の予算額
一 般 会 計 (第1号)		1億 170万円	34億8770万円
特別会計	介護保険事業 (第1号)	64万円	7億 464万円
	簡易水道事業 (第1号)	320万円	2億1910万円
	農業集落排水事業 (第1号)	275万円	1億3905万円

議案8件を可決

- ・ 陳情2件採択
- ・ 意見書2件可決

一般会計補正予算 (第1号)

主 な 歳 入

- ・ 中山間地域等直接支払推進交付金追加…251万円
- ・ 県海岸漂着物等地域対策推進事業費補助金
…………… 1215万円
- ・ コミュニティ助成事業交付金……………1150万円
- ・ 財政調整基金繰入追加……………6000万円
- ・ 前年度繰越金追加……………1029万円

主 な 歳 出

- ・ 町牛乳処理加工施設
製造タンク更新事業補助金……………170万円
- ・ 町営集合住宅建設用地造成工事……………3392万円
- ・ 町営集合住宅用地買収費……………1050万円
- ・ コミュニティセンター助成事業補助金
(山谷集会所) ……………1100万円
- ・ 町有建物解体整備工事 (旧東條ニット) … 698万円

可決した意見書

◆働き過ぎの防止と良質な雇用の確立を
求める意見書

提出先

衆議院議長、参議院議長

◆働き過ぎの防止と良質な雇用の確立、
中小企業支援の強化を求める意見書

提出先

内閣総理大臣 厚生労働大臣

陳 情

陳情第2号

「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充
を求める意見書」の採択を求める陳情書

不採択に決定

陳情第3号

「働き過ぎの防止と良質な雇用の確立を
求める意見書」の採択を求める陳情

採択に決定

陳情第4号

「働き過ぎの防止と良質な雇用の確立、
中小企業支援の強化を求める意見書」
の採択を求める陳情

採択に決定

6月定例会審議結果

議案等	議員名	山崎	宮下	中野	中川	高桑	田中	三輪	加藤	諸橋	仙海
一 般 会 計 (第1号)		—	否	賛	賛	否	賛	賛	賛	賛	賛
特別会計	介護保険事業 (第1号)	—	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
	簡易水道事業 (第1号)	—	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
	農業集落排水事業 (第1号)	—	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛

※議長は採決に参加できません

ここが聞きたい!!

予算審査特別委員会

6月15日
開催



三輪委員長

6月定例会において、一般会計及び特別会計は、予算審査特別委員会に付託して審査しました。(主な質疑内容)

ひまわりハウス第2弾

仙海議員 集合住宅ではなく一戸建てにする考えは。

町長 前回のひまわりハウスの抽選にもれた方を対象にするため現段階では集合住宅と考えている。

宮下議員 どのような考え方で第2の建設工事に至ったのか。また、抽選にもれた方に集合住宅が良いか、一戸建てが良いか、調査は行ったのか。

町長 予想以上の応募があったためで、出雲崎にとって大きなプラス要因であり町民の理解は得られると考える。

建設課長 ひまわりハウスの抽選にもれた方を対象にしているので、同じスタイルが望ましいと考える。

中川議員 今回は入居時に条件をつけるのか。また、ひまわりハウスを出る時の受け皿はどう考えるか。

町長 入居条件は変えない。将来的には団地造成をして家を建ててもらおうことがベストと考える。

諸橋議員 地元の方をもう少し入居させるようにするべきでは。また、建設には地元の業者を使うべきでは。

町長 入居については町内外を問わず

募集している。建設についても地元業者に参入してもらいたいと考える。

高桑議員 老朽化が進んだ時、単費で直さなければならず、これからの税負担をどう考えるのか。定住を目的とするならばソフト面の充実を図るべきで、すぐに抽選にもれた人たちに集合住宅を建てるのは納得がいかない。

町長 単費を使うことで独自の優遇対策ができる。耐久年度があるので、それに備えて蓄えをしていく。政策はソフト面だけではなく、あらゆる政策を総合的に駆使しなければならぬ。

加藤議員 更新とあるが定期的に行っているのか。また、全部を交換することは考えづらいが。

牛乳処理加工施設 製造タンク更新事業補助金

産業観光課長 定期的な更新ではなく老朽化によるもの。漏水で温度管理ができず、不具合が生じているために入れ替えるもの。

宮下議員 補助金を出すことにより経営改善はされているか。

産業観光課長 今後、人員削減、配送車の見直し、経費の節減、販路拡大、新商品の開発等の改善を行っていく。

あの質問はどうなった?

追跡 [第5回]

高校生の通学費助成 について

議員が行なった質問の一部を取り上げ、その後の経過を追跡しました。

平成25年3月定例会 一般質問 仙海 直樹 議員

Q 高額で保護者の負担となる高校生の通学費用を助成できないか。

A 義務教育終了まで厚い支援をおこなっており、高校の通学費となると、公平性の観点から、行政としては難しい。

平成27年3月定例会 一般質問 高桑 佳子 議員

Q 地方版総合戦略のなかで、高校生の通学費用の助成を再度検討できないか。

A 特別支援学校等の通学者についての助成、高校生までの医療費助成の拡大をしており、今のところは考えていない。

現状は

新潟県内の町村においては、関川村が平成26年度から、通学定期券購入代の30%を補助する事業を開始しました。
県外でも、鳥取県岩美町・福井県高浜町・長野県小海町など、多くの自治体で実施されている制度です。

全員協議会

ひまわりハウスについて

第4回 4月24日

ひまわりハウスに 29世帯が応募

建設課長 4日間の現地見学会に298人が来場され、29世帯の応募をいただいた。目的の中で、子どもが多くいる8世帯の家庭を優先し、残り4世帯は21世帯での抽選で決定したいと考えている。

三輪議員 家賃収入はどのくらいになるか、試算はしたのか。

建設課長 試算はしていないが、民間ベースの採算を考えた場合は難しい、使ったお金が町にどう活かせるかを考えた。

宮下議員 目的は、最終的に出雲崎に定住されることである。そういった話はあったか。
建設課長 今後の住まいについての簡単なアンケートを実施しており、「近隣に住宅を

持りたい」という回答をたくさんいただいている。

宮下議員 期限が来たときに町外に移動されたら、目的が達成できない。今後も追跡調査を行うべき。

中川議員 ひまわりハウスを出られる時に、今、住まわれているところと勝負になる。出雲崎が勝てるように、ネクストを考えるべき。

加藤議員 部屋に空きが出た場合のフォローはどうするか。

建設課長 事前に2組決定しておき、その場合には優先してご案内する。

ひまわりハウスの次の策は

仙海議員 町長の行政報告にあった、次を進めるにあたっての財源はどうするのか。場所や建物についての考えはどうか。また、来られた方に、本町を選んだ理由を質問したか。

町長 町有地に限定せず、利便性があり環境の良い土地を重視したい。建物についても、今後、入居者の満足度や問題点を集約し、皆さんの意見を聞きながら決定したい。

建設課長 どういった理由で本町を選ばれたかは質問していない。

中川議員・三輪議員 来る人の生活環境や利便性を求めると、町内の他の地域や町全体の将来に不安が残る。

町長 人口対策については、これから各自自治体間での競争となり、確保するためにはすみ分けが必要と考える。海岸地域には、良寛や妻入り家屋等を中心とした観光で、交流拠点を設定するため、造形大等との協議にも入っている。空き屋対策をふまえ、その土地のそれぞれの文化を有効に活かして、均衡ある発展を考えていく。

第5回 6月8日

ひまわりハウス第2弾の 建設計画について

建設課長 川西地区、川西公会堂裏手に、ひまわりハウスの間取りを基本とした平屋建て4世帯の長屋形式のものを3棟、建設したいと考えている。駅前のみまわりハウスの抽選にもれた方を優先に、ご案内したい。

中川議員 鳥崎川に近く、地震で揺れたところでもある。

地盤に不安はないか。また、タイムスケジュールをみると新学期にずれ込んでいるが、間に合わせるべきでないか。

建設課長 地盤については調査済みであり、平屋ということもあって、処理を加えれば心配ないと思われる。今の目安では確定出来ないが、3月の完成を目指したい。

三輪議員 平屋ということもあり、地元の建設業者を使うべきでは。

建設課長 そのように考える。

諸橋議員 入居者については町内の方が少ないのではないかとの声があるがどうか。

町長 住宅の目的から、町内外問わず、子育て世代から応募いただきたいと思う。

高桑議員 町単独の事業としてお金を使っていくわけだが、ハード面だけでは片手落ちに思う。来られる方も含め、出雲崎町で子育てをしている世代に、どういう支援やつながりが持てるか、ソフト面にお金を使うべきと思う。4月から子ども子育ての新制度も始まった。人材育成に力を入れていただきたい。

町長 ソフト面も重要と考えており、金銭的支援は県内トップクラスであるが、それで十分とは考えていない。こ

れから町民の皆さんから声を出していただき、検討していきたい。

その他

第4回 4月24日

出雲崎大祭における 子どもたちの学校対応は

中川議員 今年の大祭当日、小中学校は振替休日となった。たくさん子どもたちが参加してくれて、とてもありがたいが、小学校低学年には、かなり大変で疲れると思う。当日の振替休日が良いのか、翌日が良いのか、保護者の意見を聞きながら進めていただきたい。

第6回 6月22日

婚活第1弾は バーベキューパーティ

総務課長 今年の婚活の第1弾として、8月30日に町内でバーベキューパーティを開催する予定。2回目は秋以降に実施の予定だが、詳細はまだ決まっていない。

次期町長選挙について

一般質問

おたずねします

お答えします

町長 出馬の決意固めた

高齡、多選については

質問 来年の1月、任期満了に伴い町長選挙が行われま

す。
新潟日報の報道が6月2日に行われて、町民各位からは、高齡、多選などの意見が出ていますが、どのように答えられますか。

町長 後援会の支持があり、また町民各位からも頑張つてほしいとの意見がありました。

高齡、多選については、82歳で健康、2カ月に1回は健康診断も受け、毎日のウォー



諸橋 和史議員

キングを欠かさず、齒も丈夫で、いたつて健康であり、町政への意欲は充分にあります。過去の経験や人脈を生かして、将来の町を築き上げていきたいと思っています。

今後の町政は

質問 当町は1次産業から3次産業の衰退が大きいですが、今後の出雲崎町政をどう進めていくのか、伺います。

町長 少子高齡化対策、地方創生事業、国道352号の改良、また農業問題などを推進していきたいと考えます。

次期世代の町長は

質問 次期世代の町長候補についての考えを伺います。

町長 時代を読む洞察力、私心を捨て町将来に情熱を持つて町民の考えを聞く者に期待しています。

町全体、また過疎地区は

質問 町の中で核家族化が進んで、過疎化地区が増えています。出雲崎町の将来をどう考えて行くのか伺います。

町長 人口が減ることがすべてではありません。町のローカルアイデンティティを磨かなければなりません。

確かに人口は減りますが、懸命な努力をします。人口が少ない中で、出雲崎に対し魅力を感じる人が増えてくれば地域は消滅しないと考えます。



出馬の意志を表明する町長

海岸、八手、西越地区の振興計画は

町長 町全体の活力が大事



三輪 正議員



小木ノ城駅前の空き地

質問 町はひまわりハウスや宅地造成など各種施策により活性化、人口減対策を実施していますが、駅前地区中心で少ないと考えます。町長の考えを伺います。

町長 今後の町の発展を考える上で、全体のバランスがとれないと総合的な力は生まれません。

空き地の利用を進める海岸地区は、観光拠点として天領の里、妻入りの街並整備を進めてきました。西越、八手地区は農業振興をはかっていきます。八手地区は地域的な団結やつながりが大きい地区です。

小木ノ城駅前の 空き地活用を

質問 駅前地区に宅地ができるかと海岸、八手などから若い人が移ってしまおうと町民からの声があります。親と若手が離れてしまうと、子育てなどが大変です。今いる方が町外に出ないで近くに住めば、子育ても家族で協力できます。小木ノ城駅前には空き地が沢山あります。草刈など周辺住民は大変困っています。空き地を整備して宅地分譲すべきと考えますが、町長の考えを伺います。

2世代、3世代世帯を 増やす

町長 同居だけでなく近居も理想と思いますが、2世代、3世代の家族を増やしたいというのが私の考えです。

時代の流れもあり、それを求める人たちの思考も取り入

れながら、提言を生かして進めたいと考えています。

佐渡金銀山遺跡の整備促進を

町長 御金蔵の整備は必要

質問 6月7日、第1回佐渡金銀山世界遺産講座が天領の里で開催され、予想を上まわる130名の参加で会場は熱気で溢れました。講演の中でも、世界遺産登録を目前にして、「金銀荷揚げ地」を示す歴史遺跡である「御金蔵」などの整備を急ぐ必要を強く感じました。「観光立町」を掲げる当町にとって、世界的にも貴重な資産を発掘し、活用することは町にとって大きなプラスとなります。

前、尼瀬で発掘調査を実施し、場所の特定には至らなかったが事実は現存しています。教育委員会と検討しながら調査し、前向きに具現化する考えです。

関係機関の連携を

質問 教育委員会と産業観光課にまたがりませんが、町長の強いリーダーシップで強力に上げるべきと考えます。

平成29年度の世界遺産登録に向けて、是非とも早急に整備を進めるべきと考えますが町の考えを伺います。

町長 今が絶好の機会であり、識者の所見を承りながら議員の方向に具体的にどうすべきか考えたいと思います。

町長 金銀荷揚げ航海路の唯一の宿場町という歴史もあり、それに光を当てることは町の再生につながります。以

教育長 有識者の方々から分話をいただくと同時に、資料文献をもとに信憑性を十分に検討、調査して、会合を重ね話し合うよう考えています。

ひまわりハウス第2弾は

12世帯の建設については 弾力的に対応

町長



仙海 直樹議員

質問 ひまわりハウス第2弾は川西地域に木造平屋で4世帯が入居できる長屋タイプの集合住宅を3棟、12世帯分ということですが、集合住宅ではなく一戸建てにすべきと考えます。町長の考えを伺います。

町長 抽選にもれた方を対象とするため、12世帯の集合住宅については、意向調査や議会の意見をふまえ、弾力的にどういうタイプが良いか検討していきます。

質問 第2弾の建設にあたっては地元業者を参入させるべきと考えますがいかがですか。

町長 地元業者が参入できるような条件を整えて対応していきたいと思えます。

質問 新たな定住施策として、Uターンをする若者等に対し住宅取得等の際に補助を行うべきと考えますが町長の考えを伺います。

どうなるわくわく大作戦

町長 今後は地方創生の大きな柱になってくると思われるので、皆さんの意見を聞きながら積極的に進めるべきと考えます。

質問 町長は子育てわくわく大作戦を行うと言っていますがどの様なことか伺います。

町長 若者の結婚、妊娠、出産、子育ての環境づくり、そして成人した時にはできるだけ町にとどまってもらい老後に至るまでの、ゆりかごからついの住みかまでと考えます。

質問 川西公園に隣接する使用されていないゲートボール場を公園として整備できないか伺います。

町長 地区の皆さんに聞いたところゲートボール場は使用しないと回答を頂いたため、今後、条例等の改正をふまえ前向きに検討していきたいと思えます。



川西児童遊園に隣接するゲートボール場（写真の奥）

ふるさと納税

お返して町の魅力をPR

質問 生徒・児童を対象に元プロスポーツ選手等を招き、指導教室等を開催できないか伺います。

町長 過去に王貞治さんやアルビレックスのサッカー選手を招いたこともあります。今年アルビレックスの野球選手を招けないか検討しています。この様なことは子ども達の励みにもつながると思うので十分検討していきたいと思えます。

質問 全国各地でふるさと納税に伴うお返し話題になっています。本町もお返しを見直し町のPRにつなげていくべきと考えますが、昨年はいくらの寄附があり、何をお返ししているのか伺います。

町長 平成26年は23件で1124万6000円の寄附金を頂きました。お返しは、汐風米や梅酒、乳製品、笹だんご等を年何回かに分けて送っています。

質問 ゴルフや釣船等のレジャー、船祭りの乗船券等もあります。町の特産品等を多く取り入れ出雲崎のPRや活性化につなげるべきと考えますが町長の考えを伺います。

町長 町も観光協会を主体に色々な所でPR活動を行っています。十分考慮に入れて、今後、検討していきたいと思えます。

子どもは宝



稲荷町

島

明日香



登校する子どもたち

朝、元気良く挨拶をして登校する子ども達を見てみると、彼らは私達の大切な宝だと感じる。子育てについて考えた時、宝とするあまり、多くを望んでいる自分に気付く。思い通りにならないと、つい感情的に怒ってしま



長女が描いた家族の似顔絵

い、後々反省することが殆どだ。なぜ怒ったのか、どう対応すべきだったのかを考えると、宝と表現できないから泣いたり困らせたりしていると感じていても、今ギャング時代の長女の対応に、私自身コントロールを失うことが多い。

そんな時、幼少期に食卓を囲みながら家族と会話する時間をとても心地良かったことを思い出す。家族との関わりは子どもの心を満たし能力を広げる源になると思う。

人口流出に歯止めをかけるべく尽力されている中、家族と過ごした暖かな日々が、この場に存在したならば、この町に住み続けたいと思う一番の魅力になるまいか。

願いを込めて付けた名前。その記憶を思い起こしながら、忙しく過ぎる時間の中でも、少し立ち止まってみたい。

表紙の小話

甘酸っぱい梅の香りです。「今年も夏がきたなあ」と感じる方が多いのではないのでしょうか。

地元のブランド釜谷梅、今年も梅のオーナー制度も始まり、収穫イベントも行われました。加工品の試食会では、梅のジャムにジュースやゼリー、カリカリ梅など、おいしそうなのがずらりと並びました。

出雲崎小学校の2年生は、生活科の学習で梅もぎを体験しました。楽しそうな子どもたち、地元出雲崎のおいしさや豊かさをたくさん実感してほしいですね。
(高桑佳子)



編集後記

議会では、各委員会の2年の任期が満了し、6月8日の臨時会で新しい人事が決定しました。

「私も議会報特別委員会も新たな」と続くと、思いきや、4人全員が同じ顔ぶれです。改選後から2年間、議会改革に取り組むなか、このメンバーで議会だよりの編集をしてきました。もっと、読みやすく、わかりやすい誌面を目指して、まだこれから出来ることがあると確認した結果です。

議会活動の内容を知っていたために、気持ちを新たにこれからも工夫を重ねてまいります。皆さんのお声が私どもの力になります。ご意見、ご感想など、お寄せいただけると嬉しいです。

(高桑佳子)

議会報特別委員会

- 委員長 高桑佳子
- 副委員長 加藤修三
- 委員 三輪 正
- 委員 仙海直樹